

編集後記

本年は春近くになってから30 cm 前後の雪が3回も降り、とくに4月7日から8日に互って降った雪は、水分を多量に含んでいたためか太い枝まで折ってしまい、順調に大きく育った校内の木々を何本か無残な状態にしてしまいました。松本歯学も、現在のところ、論文も程良く集り、編集・発行にも大きな事故がなく順調に経過していますが、このような災害が松本歯学にも及ぶことのないよう祈っております。

今回は最初投稿の出足が悪くて、あまり論文が集まらないのではないかと心配しましたが、メ切間ぎわになってからかなりの数の論文が投稿されはっとしました。最近ではメ切日を過ぎてから投稿される方が多くなりましたが、原稿の集まりが悪いときは、メ切日を過ぎてても原稿を受け付けますが、原稿の集まりが多いときは、メ切日で打ち切らせて頂きますので、投稿が遅れそうな方は早目に投稿状況をお問い合わせ下さい。

本号の巻末に昭和62年業績目録が掲載されています。昭和61年の著書19, 論文発表149, 学会発表230に比べ、昨年(昭和62年)は、著書こそ医歯薬出版の歯科医学大事典が出版されて多数の先生方が分担執筆されたため、数が30と多くなっていますが、論文発表134, 学会発表192と、論文発表と学会発表の数は大分少なくなっています。松本歯学の方は、12巻の436頁に対し、13巻420頁と若干少なくなった程度ですが、松本歯学の将来が一寸気になりましたので、本学と同じ頃に設立された他の歯科大学ではどのような状態かと図書館へ行って調べてみました。しかし残念なことに、他の歯科大学の雑誌には、松本歯学に掲載してあるような完全な形の業績目録は掲載されておらず、比較は困難でした。総ページ数はどこも似たようなものでしたが、面白かったことは、どの雑誌の編集後記にも原稿の集まりを気にしている様子が伺えることで、投稿論文が多すぎて困るというようなことはどの雑誌にも起っていないようです。

(野村 浩道)

松 本 歯 学 第14巻 第1号 (非売品)

1988年 4月25日 印刷 1988年 4月30日 発行

編集兼発行者 加 藤 倉 三

発 行 所 松本歯科大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780 電話 0263-52-3100

印 刷 所 電算印刷株式会社

390 松本市筑摩3270 電話 0263-25-4329